

授業科目		単位数	学年	期間	実務経験		担当氏名
					職種		
精神看護学実習		2	2・3	2年後期 ～ 3年後期	看護師		専任教員
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)					授業形態(全授業時間に対する割合)		
○該当する ・ 該当しない					講義形式()% ・ 実習など講義形式以外(100)%		
評価方法	看護実践・実習に対する意欲・態度・実習記録・カンファレンスへの参加・課題レポート・出席日数を総合的に評価				教科書・参考資料	臨地実習要綱 精神分野関連教科書他	
概要	既習の精神保健看護に関する諸理論をふまえ、患者-看護師関係技術を用いて、その人が表している反応(状態)の意味や背景を考え理解する。そして、その理解に基づいて、看護の対象者が自らニーズや課題に気づき、満たしていける看護実践能力を養う。また、患者-看護師関係を発展させる過程の中で、自己の感情思考に気づき自己理解を深めることができる。さらに、精神障害者や家族が地域の中で安心して暮らせる為に 医療・保健・福祉の連携・協働を通してチーム医療の一員としての看護師の役割を学ぶことができる。						
目標	1. 各ライフスタイルで精神疾患を抱える対象を理解する 2. その対象に対する看護実践の方法を習得する 3. 専門職業人としての態度を養う						
回数							
	積善病院 病棟 訪問看護ステーション レモン 地域生活支援センター ネクスト津山 1. 受け持ち患者を持ち、看護を学ぶ 1) 入院患者の治療的環境 2) 患者の人権保護の重要性 3) 患者-看護師関係のあり方 4) 病状に応じた関わり方 2. 社会資源と医療従事者の連携 1) デイケア 2) 訪問看護 3) 地域包括支援センター 4) 社会資源						
留意事項							